

特42
488

黑住教祭曲樂譜
附錄

片岡正占著 故岸本秀典譜

小野元範編輯

黑住教察曲樂譜

小野藏版

欠

MISSING

特42
488

黑住教祭典樂譜

片岡正占 作文

故岸本芳秀 點譜

小野元範 編輯

目次

閉扉

垂簾

垂幌

撤饌

教徒玉串奉奠

尋常玉串



開扉

捲簾

裏帳

進饌

玉串奉奠

日拜玉串

神誠奉讀日外壇

同降壇

說教昇壇
 齋主舞
 陰氣祓除
 感應曲
 大元詣甲
 管搔
 葬祭部
 閑扉
 供饌
 玉串
 同降壇
 心乃鏡
 祓曲
 斯道
 同乙
 閑扉
 撤饌

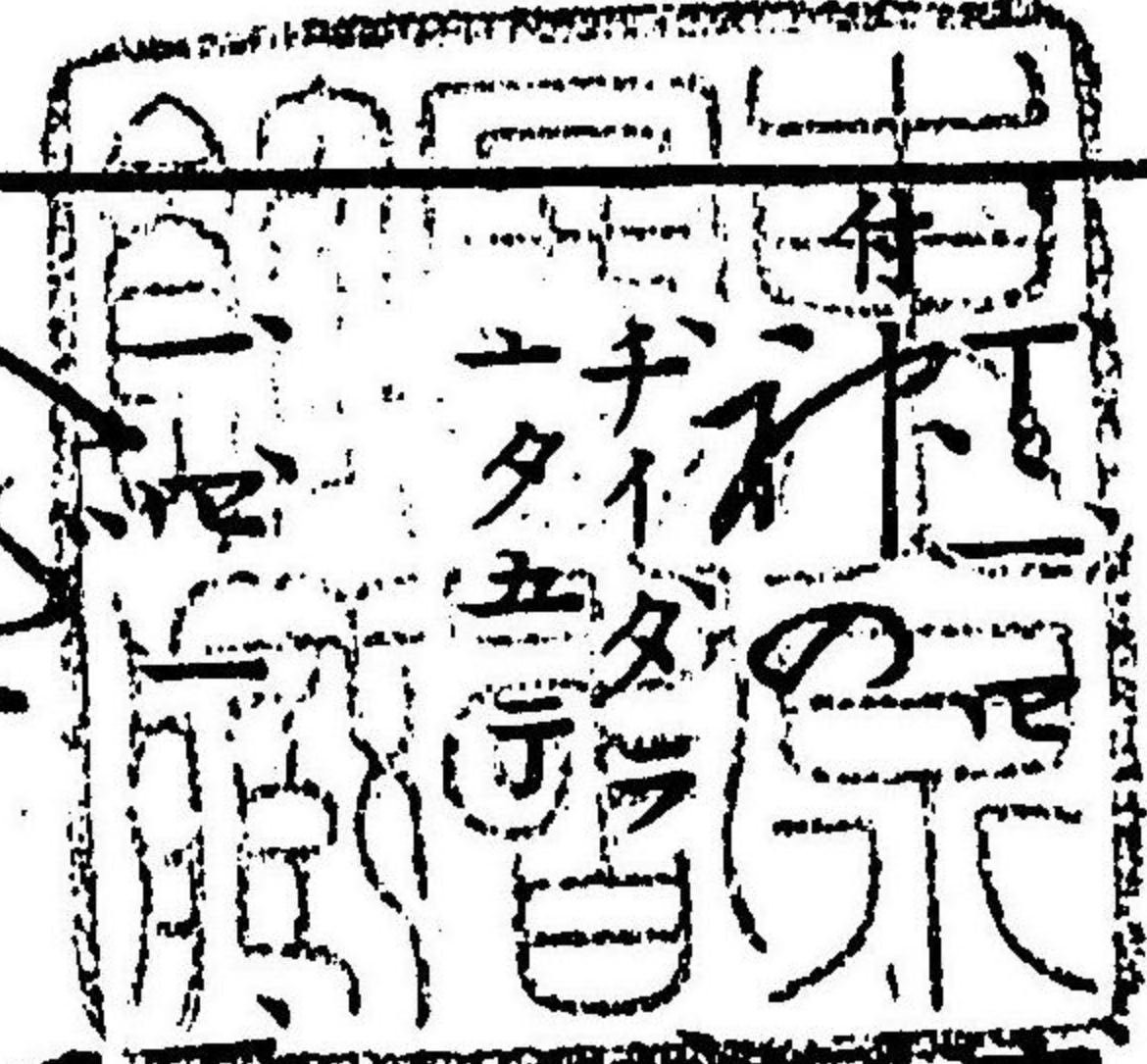
閑扉

天
 天照
 天照
 天照

神
 神心
 人
 石

由
 由
 由
 由

中
 中
 中
 中



ユ一い五 エい
おはーま せ
中セリル、タ、 中リイ

捲簾

ユ一い五 エい
玉 垂よ 玉たれ 垂よ
中タイリラ、 中ホテラリ 中ロセリル、タ、 中リイ

付、
一、下、一、四
タ、ハ、 中チヤ、 一、下、一、
ユ、タ、ハ、 中タ、 中タイリル、イ、
とほ

一、四、九 エい六、四、九 エ一い五 エい
玉 垂よ 玉垂 垂よ
中タ、ハ、 中ホテラリ 中ロセリル、 中リイ

一、下、一、四 エい五、五、五、一、四、九 エい五、五、五、
タ、ハ、 中チヤ、 日此 神の
中タイリヤラ 中ホテラリ 中ロセリル、

一、下、一、 エい六、四、九、 エい五、五、五、
光り 作くぞ 尊と かりなる
中タイリル、イ、 中ホテラリ、 中ロセリル、イ、 中タ、ハ、

一、下、一、四、六、六、 エい六、四、九、 エい五、一、四、 エい六、四、九、
日此神 の 光りを 作く
中タイリド、ロ、 中ホテラリ、 中ロセリル、 中タ、ハ、

ユ一い五 エい
考き よ
中セリル、 中リイ

垂簾

ユ 五 一 ウ
ウ ち
と の
へ ぞ
て お く
ロ ヲ ロ リ
中 六 テ 中

カ ヲ ヲ ノ ミ
愧 り
あ げ て
見 を 赤
テ ア
ロ ヲ ロ リ
中 六 テ 中

一 下 一 下
天
て ら げ
神 ハ
内 外 の
ロ ヲ ロ リ
中 六 テ 中

一 下 一 下
へ ぞ
て お く
と ぐ り
あ げ て
チ ヤ ル
中 六 テ 中

一 下 一 下
み を 赤
テ ア
テ ア
テ ア
テ ア

垂 愧

一 下 一 下
活 戸
わ り ハ
活 戸
わ り ハ
下 中

カ ヲ ヲ ノ ミ
み と
わ り
ハ
お
付
一 下 一 下

一 下 一 下
ろ
し
ま
お
テ ア
一 下 一 下

一 下 一 下
ど
大 神
お
内 外
テ ア
一 下 一 下

六四九 モシユキ
トテアリ 中由
カミシ
タリルイ 中由
カミシ
タテハハ
モシユキ
カミシ
タテハハ
モシユキ

一四九 モシユキ
チイラルハ
中由
イクモ
テアロ
テアロ
モシユキ
チイラルハ
中由

一四一
此
タテハハ
ミケ
タテハハ
モシユキ
ハミケ
中由
タテハハ
モシユキ

六四九
高座の
稲種
タテハハ
モシユキ
一四六
タテハハ
モシユキ
タテハハ
モシユキ

一四二
清
タテハハ
ウタ
モシユキ
一四二
タテハハ
モシユキ
タテハハ
モシユキ

一四九
か
タテハハ
モシユキ
一四一
タテハハ
モシユキ
一四二
タテハハ
モシユキ

一四二
アハハ
チイヤリヤ
中由
六四九
タテハハ
モシユキ
一四二
タテハハ
モシユキ

一四二
日の大
神の
うつ
チイラルハ
中由
モシユキ
一四二
タテハハ
モシユキ

一四一
アハハ
チイヤリヤ
中由
一四二
タテハハ
モシユキ
一四二
タテハハ
モシユキ

一四一
の
し種
足種
おし子
タテハハ
モシユキ
一四二
タテハハ
モシユキ
一四二
タテハハ
モシユキ

四一六
テダアロ
テラア
中タリテ
六テラ
テラ
六テラ

活
中セ
中セ
中セ
中セ
中セ
中セ

檄

大
中タ
六テ
中セ
中セ
中セ
中セ

持
中
中
中
中
中
中
中

大
中
中
中
中
中
中
中

大
中
中
中
中
中
中
中

大
中
中
中
中
中
中
中

大
中
中
中
中
中
中
中

大
中
中
中
中
中
中
中

四二六六 神巫
 テアアロ
 四二六六 神の
 テアホ
 四二六六 巫舎
 テアロ
 中由

一四一 大巫
 テイリラ
 四二六六 神の
 テセリヤ
 四二六六 巫舎
 リイアルイ
 ウタ五

五五 直
 中由
 四二六六 食
 テア
 四二六六 食
 テア
 四二六六 食
 テア

四二六六 可美活
 テア
 四二六六 食
 テア
 四二六六 食
 テア

玉串奉奠

一四一 一
 五五 一
 四二六六 一
 テア
 四二六六 一
 テア

一四一 一
 五五 一
 四二六六 一
 テア
 四二六六 一
 テア

一四一 一
 五五 一
 四二六六 一
 テア
 四二六六 一
 テア

一四一 一
 五五 一
 四二六六 一
 テア
 四二六六 一
 テア

一四一 一
 五五 一
 四二六六 一
 テア
 四二六六 一
 テア

ル あり	今 自 ま う	で あ て	茶
ル あり	あ よ	あ の の	人 の
み て	く ら を	あ さ	
げ き て	茶	る	

日様式玉串

た て	ま あ る	茶	る
た て	ま あ る	茶	る
た て	ま あ る	茶	る
た て	ま あ る	茶	る

尋常玉串

ユ五二 六二九
おきこそ もとの
チイリテ、 トテテリ
中タユテ、 六二九
ユ二五 五二五
すみふ
中セテ、 中セテ

心は鏡

ユ五二 六二九
立 向
チイリテ、 トテテリ
中タユテ、 六二九
ユ二五 五二五
立向
ロリル、 中セテ

付人の 心ハハ
チイタテ ユタユテ
ユ二五 五二五
鏡
ロリル、 中セテ

一四二 一四二
己ガ 姿を
ダアル テラハ
ユ二五 五二五
うつ
タルラ、 由

六二九 一四二
人の 霊ハ
チイテロ ダテテリ
六二九 五二五
天照
ロリル、 中セテ

ユ二五 一四二
神の 様々
中セリテ、 中ウテ
ユ二五 五二五
され
ダテテ、 テテ

一四二 一四二
丸き 珠の
ダテハ、 中タヤリ
ユ二五 五二五
ま
トテテ、 ユタユテ

一四二 一四二
研ん 心ある
ダテテ、 中テテ
ユ二五 五二五
奇み
ロリル、 中テ

一四二 一四二
光れ 真す
ダテハ、 中チイヤリ
ユ二五 五二五
鏡
六二九 六二九
可き物
六二九 六二九

一ウセ九
五ニ五ハ
中チヤルイ
テタアハ
五ニ五ハ
中チヤルイ
テタアハ
テタアハ

感應曲

ある
中チイリルイ
テタアハ
五ニ五ハ
中チヤルイ
テタアハ
テタアハ

由
五タヒ
中チヤリ
テタアハ
テタアハ
テタアハ

菱橙
テタアハ
テタアハ
中チイリラ
テタアハ
テタアハ

どうく
中セラル
中セラル
テタアハ
テタアハ
テタアハ

飛も様
一ウセ九
テタアハ
テタアハ
テタアハ

病
下一ウ
テタアハ
テタアハ
テタアハ

天
中チヤハ
ドテラハ
テタアハ
テタアハ
テタアハ

神も
中テラハ
中セラル
中セラル
中セラル
テタアハ

ユシユ五五ミ
一四二一
みちひく神
友祖ハ
テ六テ、中

下一四六
ユシカ舌ミ
すめや
チイダラ
ヒイタラ

六四九
ユ一五
リイ
中

大元詣

ユ五五
六四九
ユシカ
中

一四一
日本
の
付
一四一
タルラ

一四一
大元
と
一四一
づくの

ユ五五
ユ五五
ユ六五
一四九

ユ五五
ユ一六
ユ一六
ユ五一四

六四九
ユ一五
ユ一五
ユ五五

六四九 雨の夜も 風の
 六四九 雨の夜も 風の
 六四九 雨の夜も 風の
 六四九 雨の夜も 風の

吹目も ひとひふ くる みるき
 吹目も ひとひふ くる みるき
 吹目も ひとひふ くる みるき
 吹目も ひとひふ くる みるき

アヒて あま 照は 神の
 アヒて あま 照は 神の
 アヒて あま 照は 神の
 アヒて あま 照は 神の

みくら 人ら ろ 一まふれ
 みくら 人ら ろ 一まふれ
 みくら 人ら ろ 一まふれ
 みくら 人ら ろ 一まふれ

生通し 活し通の 新道の
 生通し 活し通の 新道の
 生通し 活し通の 新道の
 生通し 活し通の 新道の

道の歌を 友祖と 御奴今
 道の歌を 友祖と 御奴今
 道の歌を 友祖と 御奴今
 道の歌を 友祖と 御奴今

おありなま きたいぬ今 ありなれ
 おありなま きたいぬ今 ありなれ
 おありなま きたいぬ今 ありなれ
 おありなま きたいぬ今 ありなれ

同舞

たび ころも くるく 吉優の
 たび ころも くるく 吉優の
 たび ころも くるく 吉優の
 たび ころも くるく 吉優の

大元 の付もとつ 友の
 大元 の付もとつ 友の
 大元 の付もとつ 友の
 大元 の付もとつ 友の

ルユ六
ト口ホ
タ五ウイ
チイリルイ
付
ユ六
付
チイリルイ
中ト上タ

ン
クあり
六
クふ
一
おろを
一
うけ
五
タリヒ

ユ
カ
ナ
マ
六
うけな
六
へ
テ
ア

閉扉

ユ
五
マ
り
一
をへ
六
活扉
一
も
六

付
と
り
も
ユ
五
香
今
日
ハ
ユ
五
ユ
と
ち
ユ
五
マ
る
ユ
五
ユ
マ
る

一
ウ
六
み
ま
り
ユ
五
香
を
へ
六
み
を
ひ
ら
六
も
六

ユ
五
一
と
り
も
六
ク
ふ
ユ
五
閉
ま
る
ユ
五
る
ユ
五

借鏡

カ
い
ノ
ユ
五
マ
る
一
下
ユ
五
マ
る
ユ
五
ユ
マ
る

一四六
そのへ
おきつる
きみけ
を
五テラ
中六テ
中六テ
中セリ
中リイ

おろ
おろ
ま
ま
らん
五五
中六
中六
中六
中六

く
ま
こと
を
五五
中六
中六
中六

だ
だ
う
ひ
六六
中六
中六
中六

み
を
ま
め
ひ
五五
中六
中六
中六

この
家を
ありの
神と
五五
中六
中六
中六

ま
を
六六
中六
中六

玉串

た
た
た
まる
五五
中六
中六
中六

玉
串
み
の
五五
中六
中六
中六

一丁二	五ダラハ	一四九	五ダラハ	一丁二	五ダラハ	一四九	五ダラハ
の	チヤ	ム	ロ	の	チヤ	ム	ロ
一丁二	五ダラハ	一四九	五ダラハ	一丁二	五ダラハ	一四九	五ダラハ
の	チヤ	ム	ロ	の	チヤ	ム	ロ
一丁二	五ダラハ	一四九	五ダラハ	一丁二	五ダラハ	一四九	五ダラハ
の	チヤ	ム	ロ	の	チヤ	ム	ロ

明治廿五年十一月十三日印刷

明治廿五年十一月廿日出版

定價金貳拾八錢

岡山縣備前國御野郡今村大字上中野十六番邸

發行兼
著作者

小野元範



岡山縣備前國御野郡今村大字上中野十七番邸

印刷者

尾崎定八

宗忠神社内

朝陽堂

發賣所

同

誠樂堂

